


腕時計型活線接近警報器  
リストアラーム  
(型式：HXW-6)

取扱説明書

■試験成績書

外観・構造試験	異常がないこと	良	
動作開始電圧試験	40V±10V (標準試験器にて)	良	
音量性能試験	65dB以上 (60cm離れて)	良	
総合判定	合格 不合格		

この用紙は取扱説明書です。大切に保管してください。  
御使用前に必ずお読みください。

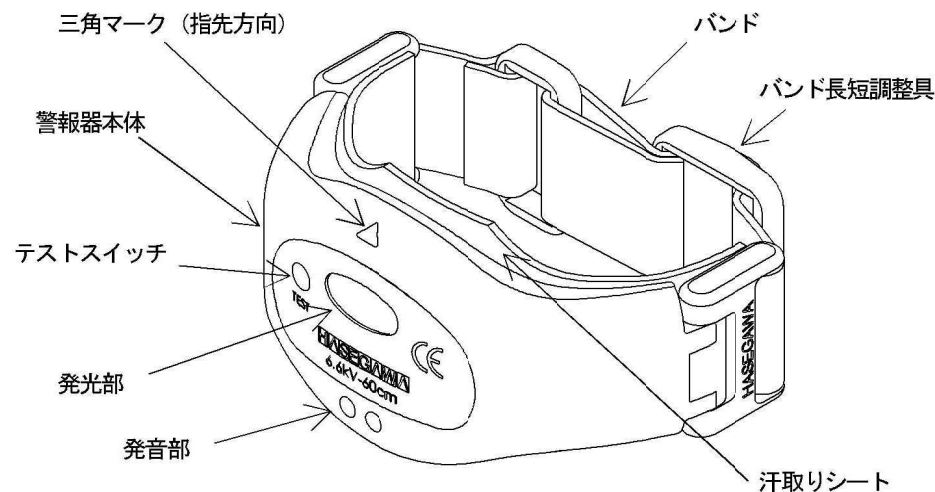
(注) 改良のため仕様を予告なく変更することがあります。

 長谷川電機工業株式会社

本社・工場 TEL : 06(6429)6144 FAX : 06(6429)0016

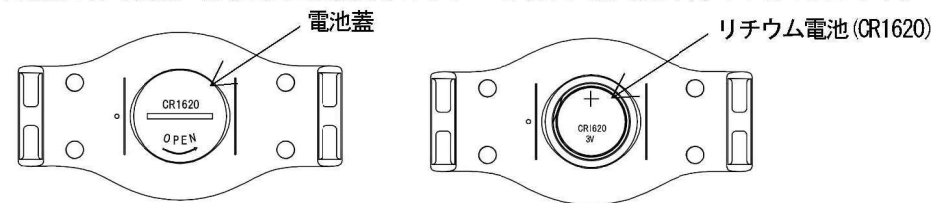
E-mail : infor@hasegawa-elec.co.jp URL : http://www.hasegawa-elec.co.jp

1. 各部の名称



2. 電池の入れ方

- 1) 警報器本体の裏側にある電池蓋を硬貨などで『OPEN』方向（反時計回り）に回すと外れます。



- 2) リチウム電池 (CR1620) 1個を汚れのないように、乾いた布等で拭き、+のマークが外側になるように入れ、電池蓋を被せて『OPEN』とは逆方向（時計回り）に回してしっかり締付けます。締付けが弱い場合、内部に水が浸入し故障の原因となります。

- 3) 電池の寿命はおおよそ次のとおりです。

警報動作（発音・発光）時	通算 約15時間
不動作（放置）状態	約10ヶ月

3. 使用方法

●動作チェック

- 1) 外観・構造に異常がないか点検してください。
- 2) テストスイッチを押すと、発音・発光します。5秒程度押し続けて発音・発光状態が変化しないことを確認してください。異常がなければ電池と内部回路は正常です。発音・発光状態が変化したときや、発音・発光しないときは電池を交換してください。

※付属の電池は動作確認用です。早めの交換をお勧めします。また、電池は消耗品ですので保証対象外となります。

- 3) 既知の電源や検電器チェッカーによる動作チェックを行ってください。例えば、AC100Vコードに警報器の表面を接触させると動作します。  
検電器チェッカーには弊社 HLA-1A や HLL-1 をご使用ください。

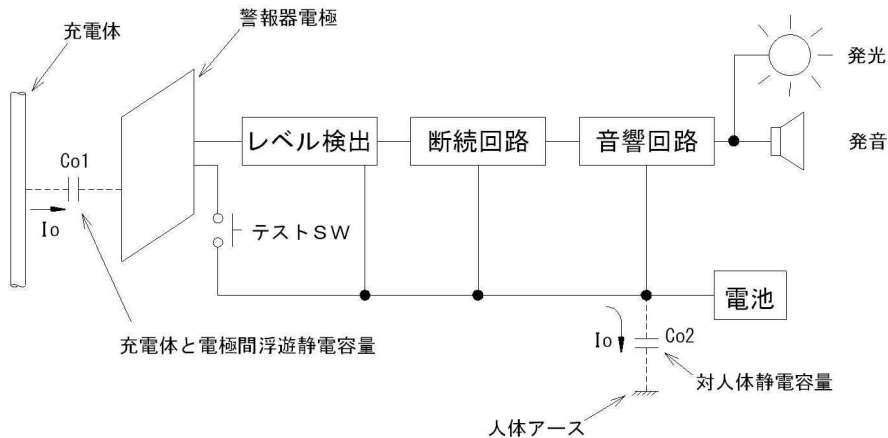
#### ●装着

- 1) 警報器本体が手の甲の側になるように又、三角マークが指先方向になるように手首の素肌に直接装着してください。（利き腕への装着をお勧めします。）  
※作業服やゴム手袋の上から装着すると、警報開始距離が短くなります。
- 2) バンドの長さを適当な長さに調節してください。  
※バンドは消耗品です。極端に汚れた場合や伸びた場合は新しいものに交換してください。（動作感度に影響を及ぼすことがあります。）  
交換の際は弊社にご用命ください。（取替用バンド品番：DZ14003）
- 3) バンドの交換方法

片側を爪に挿入しバンドの端を押えて反対側の爪に通してください。  
(外す時は逆の順序で)



#### 4. 動作原理（回路ブロック図）



充電体と警報器内部の電極との間の浮遊静電容量  $Co1$  と警報器と人体アース間の静電容量  $Co2$  を通じて流れる電流  $I_o$  を検出し、動作（発音・発光）します。

動作は充電体に約 60cm まで接近すると発音・発光を開始し、充電体に近づくにつれて動作周期が速くなります。

#### 5. 定格

警報開始距離 <sup>※1</sup>	6.6kV（対地電圧 3.8kV）—60cm（弊社標準状態において）
周波数	50Hz/60Hz
音量	65dB 以上（60cm 離れて）
使用電池	コイン形リチウム電池 CR1620 1個
使用可能温度範囲	-10°C~+40°C
外形寸法	(W)77mm×(D)40mm×(T)14mm
質量	約 35g

※1：標準状態とは弊社における試験状態を示しており、実際の使用環境により警報開始距離は異なる場合があります。

#### 6. 保証

本品は厳重な品質管理のもとに製造しておりますが、万一お買い上げの日より1年以内に製造上の原因にもとづく故障が発生した場合には、購入先に御連絡下さい。無償で修理または交換させていただきます。

#### 7. 使用上の注意

- 1) 本器は「検電器」ではありません。充電体検知の補助的手段に用いるものですので、本器を装着したことにより安全を過信したり、又「検電器」の代わりに使用しないでください。
- 2) 警報器本体の内部にある電極で感知しますので、警報器本体が人体で隠れる位置になると、非常に感度が鈍くなり、動作しなくなることがあります。
- 3) 接地された構造物（アングル、トランス、VCT等の金属部）付近では警報開始距離が短くなります。
- 4) 雨などで濡れたときは電池を外して、日陰で自然乾燥させてください。また水濡れ状態のまま使用しないでください。動作しつぱなしになったり、警報開始距離が短くなることがあります。
- 5) 落下、衝撃など強い力が加わった時は、外観チェック、動作チェックを行い、正常動作することを確認してください。
- 6) 発音部の内部には防水膜がありますので、ピン等でつかないでください。
- 7) 近くに充電体がないのに動作しつぱなしとなる場合、周囲の影響（誘導電圧や静電気）によることが考えられます。警報器本体を両手のひらで覆い周囲の影響を遮断したとき動作停止すれば正常です。

#### 8. 保管時の注意

- 1) 保管する場所は直射日光の当たらない、屋内の乾燥した所を選んでください。
- 2) 電界強度の強い場所で保管する場合や、持ち運びをする際には動作することがありますので、電池を外すかシールドされた収納袋（出荷時に製品を包んでいた袋）で保管してください。
- 3) 夏期等に、路上や自動車の中など高温になる場所に置かないでください。
- 4) 冬季など屋内外の温度差が大きい場合、結露により内部に水が付着する場合がありますので注意してください。結露した場合は電池蓋を外して自然乾燥させてください。
- 5) 長期間使用しないときは電池を取り外して保管してください。電池が粗悪な場合、漏液して警報器の故障の原因となります。